

国際熱核融合実験炉（ITER）の状況について

現 状

ITERの建設地（サイト）としては、現在、我が国の六ヶ所とフランスのカダラッシュとが候補地（右上図）。

12月20日、米国において、日本、欧州、中国、韓国、ロシア及び米国の代表者によるサイト決定のための閣僚級会合開催。

同会合では、ITERの建設地の合意にはいならず、今後以下の作業を行い、2月にも再度閣僚級会合を開催し、合意を目指す。

・各国は、サイト提案国（日、欧）に対し12月終わりまでにサイトに関わる疑問点を提示し、提案国は来年1月末までに回答

・来年1月末までに、ITER国際チーム^(注)と各参加国が共同で、核融合に対するより幅広いプロジェクトの推進方策を急いで探求

注) 現在、六カ国の研究者からなるITER国際チームが独・ガルツク及び日・茨城県那珂にて活動中

(参考) 閣僚級会合について

日 時：平成15年12月20日（土） 9:00 ~ 13:00（現地時間）
23:00 ~ 翌 3:00（日本時間）

場 所：ハイアット・リージェンシー・レストン・ホテル
（米国 ワシントンDC 郊外）

出席者

日本：細田 内閣官房副長官
稲葉 文部科学副大臣 他

EU：ピュスカン 欧州委員（研究担当）
モラッティ イタリア研究大臣（欧州競争担当相理事会議長）
キング 英・首相首席科学顧問
エニユレ 仏・研究大臣 他

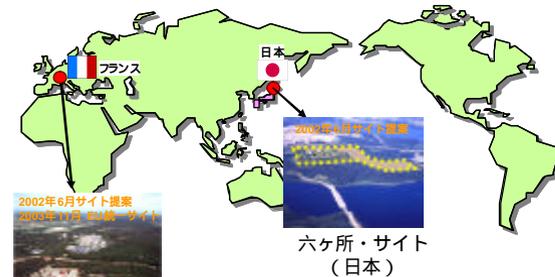
中国：劉 科学技術部副部長 他

韓国：朴 科学技術省大臣 他

露国：ポロフコフ 原子力省第1次官 他

米国：エイブラム エネルギー省長官 他

ITERサイト候補地



カダラッシュ・サイト
（フランス）

ITER計画について

概 要

核融合エネルギーは、将来のエネルギー源の一つの有望な選択肢。

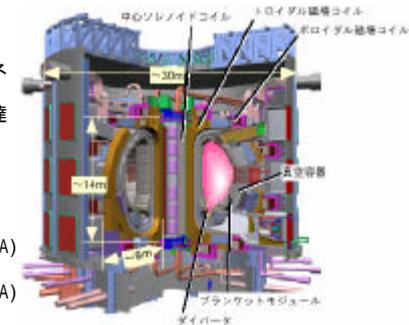
実験炉として、燃焼プラズマの達成、長時間燃焼の実現等の工学的実証を行う。

経緯・計画

1985年11月の米ソ首脳会談が発端
1988年～1990年 概念設計活動(CDA)
1992年7月～2001年7月

工学設計活動(EDA)
2001年11月 政府間協議開始

2005年 建設開始（予定）
2015年 運転開始（予定）
（20年間運転予定）



総経費約1.3兆円
（30年余の建設から廃止措置まで）